

# 令和3年 第6回全員協議会会議録

令和3年9月9日 議員控室

## ○事 件

町長報告事項

(1) 町営住宅使用料の二重徴収について（建設課）

## ○出席議員（13名）

議長 能登谷 正 人 君  
関 口 正 博 君  
横 田 喜世志 君  
斎 藤 實 君  
三 澤 公 雄 君  
安 藤 辰 行 君  
千 葉 隆 君

副議長 黒 島 竹 満 君  
佐 藤 智 子 君  
大久保 建 一 君  
赤 井 睦 美 君  
牧 野 仁 君  
宮 本 雅 晴 君

## ○欠席議員（1名）

田 中 裕 君

## ○出席説明員（5名）

町長 岩 村 克 詔 君  
副町長 萬 谷 俊 美 君  
財務課長 川 崎 芳 則 君  
総務課長補佐 相 木 英 典 君

副町長 吉 田 邦 夫 君  
総務課長 竹 内 友 身 君  
商工観光労政課長 井 口 貴 光 君

## ○出席事務局職員

事務局長 三 澤 聡 君  
庶務係長 松 田 力 君

事務局次長 成 田 真 介 君

[開会 午後 3時04分]

### ◎ 開会・議長挨拶

○議長（能登谷正人君） 時間になりましたので、ただいまから、第6回の全員協議会を始めさせていただきます。

議長挨拶はありますけれども、大変朝から皆様ご苦労様でした。特に最後、質問、答弁で期待ができる八雲町になっていっているんじゃないかと思っております。どうか議員も、それから職員の皆さんも、是非、夢に向かって頑張っていただきたいと思えます。

### ◎町長報告事項

○議長（能登谷正人君） それでは早速、そのあとでちょっと言いにくいんですけども、町長報告といたしましては、町営住宅使用料の二重徴収についてということで説明をお願いいたします。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 議会の終わった後に全員協議会を開いていただいてありがとうございます。前回の全員協議会でもお詫びを申し上げましたけれども、改めてですね、町営住宅使用料二重徴収について、町民または皆様にご迷惑ご心配をおかけしたことに對しまして深くお詫び申し上げます。

内容、結果についてですね、担当課から説明をさせますので、よろしく願いいたします。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（能登谷正人君） 建設課長。

○建設課長（藤田好彦君） それでは、町営住宅使用料の二重徴収についてご報告させていただきます。

まず事案発覚の経緯ですが、8月分の町営住宅使用料の口座引き落としについては、8月25日となっております、その当日に町営住宅入居者より、8月分の住宅使用料が2回分引き落としされているとご報告をいただいたため、関係機関に確認を行った結果、ゆうちょ銀行からの口座引き落とし分が二重に引き落とされていることが確認されたものであります。

このたびの事案の概要ですが、町営住宅使用料のゆうちょ銀行取り扱い分について、口座振替依頼をゆうちょ銀行のデータ伝送システムにより行った際、本来であればデータ送信完了と同時に作業内容を確認する帳票の出力を行わなければなりませんでした、担当者がこの帳票の出力を失念したことに気付いたため、いったん送信データの削除処理を行い、このときに削除処理が完了したと思いこんだ。そして再度データ送信をした。

しかし、そのデータ送信の削除の誤りですけれども、端末画面上の送信履歴の削除であったために、一度目に送信したデータが正しく削除されていなかったため、結果、二度の口座振替依頼を行ったこととなり、対象者の口座から二重に引き落としとなり、過誤徴収となったことであります。

次に、対象者及び過誤徴収額についてですが、この度の対象となる町営住宅使用料は、令和3年8月分となっております、対象者は八雲地域、熊石地域合わせて121世帯となっております。過誤徴収額については226万5,660円となっております。

次に、本事案における対応の処理についてですが、8月29日に事実が発覚し、翌日の8月26日から8月27日にかけて本事案の対象者に電話及び訪問により事情の説明及び謝罪を行ったうえで、全額還付を行った次第であります。なお、希望者には翌月9月分の町営住宅使用料の充当処理を行うものとしております。

再発防止としましては、データ送信内容をゆうちょ銀行に電話して直接確認するとともに、データ送信、帳票の出力処理、電話確認について各作業過程において、作業確認簿などを作成して、チェック体制を強化し、再発防止に努める所存であります。

この度の二重徴収については、入居者の皆さんに多大なご迷惑をおかけしましたこと、また、行政の信用を失墜させたことに対しまして、深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

○議長（能登谷正人君） ただいま説明がありました。何かご意見がありましたら。

○9番（三澤公雄君） 議長、三澤。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○9番（三澤公雄君） 一番最初のところちょっと聞いたなりでメモしたんだけど、だから確認なんだけれども、住民のほうから二重落としになっているという訴えがあったのは最初ということですか。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（能登谷正人君） 課長。

○建設課長（藤田好彦君） 25日の引き落としだったので、その当日の朝に来庁してこられてですね、二重引き落としになっているという報告を受けました。

○9番（三澤公雄君） 議長、三澤。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○9番（三澤公雄君） それでいくと、そこから遡って、職員がこの概要で書いてることをしたんだということがわかったということになるので、その職員がですね、失念したときに失念したと気付かなかった。そして一度目の送信データが削除されておらず、結局、二度口座振替で依頼していたことになっていたということも、あとから遡ってわかったと。というようなことが複数の職員でのチェックで直るの。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（能登谷正人君） 課長。

○建設課長（藤田好彦君） ゆうちょのデータ送信の作業の中で、最後に帳票の出力をするという作業をしないとですね、帳票を出力し忘れた場合に、なにもデータが戻ってこないんですよ。それで画面上の削除処理だけとかたちで削除してですね、それですべてデータがなかったという思い込みだったということなので、次のデータ送信したあとにですね、データが1件だったのか2件だったのか正しく入ってるのかということ、やった本人が確認すると。それで帳簿かなんか付けて確認したことを必ずチェックするということが対応しようと思いますので。

○9番（三澤公雄君） 議長、三澤。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○9番（三澤公雄君） それでいくと、そもそもの仕事の基本マニュアルに欠陥があったのか、職員が仕事の理解度が浅かったのかというところがそもそもの問題じゃないかなと思うんですよ。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（能登谷正人君） 課長。

○建設課長（藤田好彦君） ちょっと言い訳にしかないんですけども、ゆうちょのシステムなんですけれども、これが6月に入れ替わったんですよ。それで出力経験も浅かったというのも重なってしまったのかなというふうに考えていますので、今後はその辺気を付けていきたいと思います。

○9番（三澤公雄君） 議長、三澤。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○9番（三澤公雄君） わかりました。ということはゆうちょのシステムが変わったことによって、今までの仕事とはちょっと変わってきたんですけども、それに対応できていなかったというのが始まりという理解でいいですか。

○建設課長（藤田好彦君） 議長、建設課長。

○議長（能登谷正人君） 課長。

○建設課長（藤田好彦君） そのとおりです。

○議長（能登谷正人君） 皆さん理解したと思いますので、この部分はこれでよろしいですね。是非、二重にチェックして防いでください。ご苦労様でした。

（何かいう声あり）

○議長（能登谷正人君） それでは、以上をもって全協を閉めます。大変ご苦労様でした。

[閉会 午後 3時14分]